

会 議	令和元年度 第2回幸田町総合教育会議 会議録
日 時	令和元年10月3日(木) 開会 午前9時 閉会 午前10時05分
場 所	幸田町役場 4階 401会議室
構 成 員	町 長 成瀬 敦 教育委員会 教育長 小野 伸之 教育委員会 委 員 平松 敏明 教育委員会 委 員 山下 英雄 教育委員会 委 員 長谷 禎子 教育委員会 委 員 立花 千加子
欠 席 構 成 員	なし
傍 聴 者	なし
構成員以外の出席者	副 町 長 大竹 広行 企 画 部 長 近藤 学 企画次長兼企画政策課長 成瀬 千恵子 企画政策課長補佐 鳥居 正和 企 画 政 策 課 主 査 神田 剛志 住 民 ど も 部 長 牧野 宏幸 こ ど も 課 長 菅沼 秀浩 教 育 部 長 吉本 智明 学 校 教 育 課 長 内田 守 生 涯 学 習 課 長 長谷 優一郎 学校教育課教育指導監 藤井 敦 学 校 教 育 課 長 補 佐 加藤 宏和
会議に付した案件	○意見交換 ・学校プール運営基本構想について ○報告事項 ・幸田町2020年東京オリンピックホストタウン事業 について
決 定 事 項 及 び 主 な 意 見 等	○学校プール運営基本構想について 委託業務の結果を受けて、今後の方針を検討していく。 ○幸田町2020年東京オリンピックホストタウン事業 について オリンピック選手と子どもたちが触れ合う機会を創出し ていく

発言者	発言の主な内容
企画部長	○開会の言葉
町長	○あいさつ
教育長	○あいさつ
町長	○議題(1)意見交換 「学校プール運営基本構想について」説明を求める。
学校教育課長	<p>学校プール運営基本構想業務は、学校プールの今後のあり方を検討していくためのもの。幸田町の学校プール施設は、30年以上経過していることもあり、大規模改修が必要な時期を迎えている。また、今後、児童及び生徒が増加する予測の学校もあり、施設の再検討の必要もある。さらに、学校における働き方改革の推進により、夏休み期間中の学校プールの役割を見直す必要性が生じてきている。また、近隣の市でも民間プール活用の検討及び検証を行い、さらに実施しているところもあるため、本町においても今年度発注している「学校プール運営基本構想業務」にて、今後の学校プールのあり方を検討する資料づくりを実施し、学校プールのあり方を検討していくもの。契約業者は玉野総合コンサルタント株式会社で、契約期間は9月25日から令和2年3月20日まで。</p> <p>学校プールの現状について、各小中学校のプールの年間の維持管理費、修繕費等の額は、直近3年間の平均で、水質検査やろ過機及びシャワーの保守が約55万円/年、水道代が約216万円/年、薬品が約80万円/年、ろ過機及びシャワーの修繕や防水塗装修繕などの修繕費が約810万円/年であり、合わせて年間約1160万円/年(1校あたり約130万円)かかっている。</p> <p>既存のプールの状況は、建設されてから最大45年(幸田小学校、豊坂小学校)、最小でも30年(北部中学校)経過している現状であり、改築等が必要となってきます。</p> <p>「学校プール運営基本構想業務」では、小中学校9校の今後のプールのあり方を検討していく。既存の施設を造り替えることや長寿命化させるための大規模改修、プールを廃止し水泳授業を町民プールや民間のスイミングスクールで行っていくことなど、費用面や利用面及び安全面などを考慮し総合的に検討していくもの。近隣の市でも検討及び検証を行い、さらに実施しているところもあるため、本町においても検討できる資料づくりを実施していく。</p> <p>○プール廃止、民間等を利用した場合のメリット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プール改修費や維持管理費のカット ・PTA、教員の負担軽減

	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の泳力向上（プロのインストラクターによる指導） ・プール用地の利活用 <p>○プール廃止、民間等を利用した場合のデメリット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間等のプール施設（町民プール含む）までの移手段 ・利用時間の調整（児童及び生徒と一般利用者との時間帯の調整） ・移動時における移動時間がかかる ・授業の時間割（移動時間がかかるため1時間では難しく、2時間以上が必要） <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水泳指導時間数 小学校の平均 11.2 時間 中学校の平均 11.3 時間 ・プール改修費 概算で 2500 万円×9 校=2 億 2500 万円 (金額は学校プール運営基本構想業務にて精査)
町長	<p>○説明に対する意見聴取</p> <p>総合的に検討しなければならない。子どもたちにとって楽しいプールであってほしい。安全面、費用面等、さまざまな面からご意見をいただきたい。</p>
委員	<p>○意見</p> <p>部活動後のプールで汗を流せた。プールが無くなっても、シャワーは残してほしい。それから、更衣室が清潔感に欠け、着替えるのに抵抗があるとの子どもたちの声を聞いたことがある。</p> <p>基本的には、民営化に賛成です。屋内プールで年間通して活動できた方が時間の確保がしやすいのではないかと思います。ただ、町民プール1か所 で9校分回せるのか。また、保護者の負担が増えるのか。</p>
町長	<p>○質問</p> <p>更衣室の問題ですが、具体的にどういった部分でしょうか。</p>
委員	<p>○意見</p> <p>人数に対してスペースが狭い。暗くて閉鎖的なイメージで、子どもたちがすみで着替えているイメージである。</p>
学校教育課長	<p>○回答</p> <p>シャワーについては、ご意見として伺っておきます。更衣室については、40年近く昔のものであるため、現在の感覚からすると暗くて狭いものになる。大規模改修をすることになった場合については、広さは学校敷地の問題もあり難しい面もあるが、ご指摘いただいた内容が反映されたものになると考えている。</p>

	<p>町民プールの利用については、学校間での調整、ローテーションが必要になってくると考えている。また、送迎バスの問題もある。町民プール1か所だけでは難しいため、他の民間施設も含めて考えていくことになる。民間委託による保護者負担については、今のところ考えていない。近隣の状況も確認します。</p>
委員	<p>○意見</p> <p>すべての子どもたちが同じように受けてほしい。同じ場所で平等に受けられるようにしてほしい。PTAや先生の負担軽減は、良いことだと思う。南部中でシンクロをやった話を聞いたことがある。学校にプールが無くなるとそういったものもできなくなる。また、夏休みの学校プール開放はどうなるのか。</p>
学校教育課長	<p>○回答</p> <p>平等性の問題もありますが、先行してモデル的に行うことも考えられます。なるべく同じ環境にできるよう考えたい。夏休みプール開放については、学校プールを廃止した他の市町では、民間プールの利用券を配布しているところもある。町民プールの利用、えこたんバスの利用も含めて、利用促進につなげていきたい。</p>
委員	<p>○意見</p> <p>学校外のプールに行くことが遠足のように楽しかった記憶がある。学校にあってすぐ入れるのはメリットだと思う。一方で、児童・生徒数が増えている学校では、プールのスペースを転用できるのはメリットではないか、逆に児童数が減っていて用地に余裕があるところは、そのままでもよいのではないか。中学校は、民間委託でインストラクターの指導を受けることが、小学校よりも適しているのではないか。また、すべての学校を一緒にする必要はあるかどうかは、検討が必要だと思う。それから、PTAの負担はそんなに大きいのか。子どもの手が離れた今になると、もう少し関わりをもっておけばよかったと思うこともある。民間委託費用について概算で分かればお示しいただきたい。</p>
学校教育課長	<p>○回答</p> <p>全校統一にするか、中学校を民間委託にするかなど、ご意見として参考にさせていただきます。民間委託の費用について、金額については出ていませんが、他の市町村に聞いた内容では、現状の維持費と同等程度と聞いています。実際の金額については、今回、委託業務の中で試算をしていきたい。</p>
委員	<p>○意見</p> <p>以前は防火用として水を貯めておくための機能もあったように思うが、それは考慮しなくてよいのか。また、児童クラブでの利用も一部あると聞いているがそれはどうなるのか。教員やPTAの負担軽減は、大</p>

	<p>きいと思う。幼稚園で委託しているところは、プールのバスが迎えに来て、保護者がプールに迎えに来るというかたちで、園は送り出すだけという運営をしている。それから、昔は学校で水泳大会があった。子どもたちの能力を引き出すようなかたちで考えていただきたい。</p>
学校教育課長	<p>○回答 防火水槽としての役割についても検討したい。児童クラブでの利用も考慮に入れていきます。インストラクターによる専門的な指導も魅力的であると考えている。</p>
こども課長	<p>○回答 児童クラブでの利用について、今年度から民間委託をしたクラブで、契約内容がクラブ内での活動に限られており、プール開放の対応はできないということであった。指導員がプール監視員の講習を受ける必要があり、追加料金が発生するとのことであった。すべて平等にするという観点で、今年度は、プールの利用を中止した。クラブとプールに分かれて指導員も対応しなければならず、また、プールの監視では、クラブ員だけでなく、プールを利用している全児童が監視の対象になってくるため、現場での対応が大変であると聞いている。来年度予算に入れていくか検討したい。</p>
町長	<p>(学校プール運営基本構想について) 最終的なものを説明する機会はあるのか</p>
学校教育課長	<p>何らかのかたちで説明したい</p>
町長	<p>賛否両論があり、平等性の問題もある。子どもたちにとって泳ぐ環境が良くなったと思ってもらえる内容でなければ、認めていただけないと思っている。大変重要な構想であると考えている。</p>
町長	<p>▼以上で(1)意見交換については、終了とする。 ○(2)報告事項 「幸田町2020年東京オリンピックホストタウン事業について」説明を求める。</p>
企画政策課長	<p>幸田町2020年東京オリンピックホストタウン事業について報告します。オリンピックホストタウンは、日本の自治体と、2020年東京大会に参加する国・地域の住民等が、スポーツ、文化、経済などを通じて交流し、地域の活性化等に生かしていくものです。 幸田町のホストタウン登録国はハイチ共和国。登録の理由としては、ハイチ共和国の選手団を招へいし、スポーツや文化を通じた相互交流を実施することで、幸田町の魅力を発信するとともに、国際感覚の醸成を図る機会になること、そして、平成30年12月から在ハイチ日本国大使である水野光明氏が幸田町出身であり、交流について協力依頼があったこと、また、ハイチ(共和国)を英語読みでは「ハイチ」と発音す</p>

	<p>るが、公用語のフランス語では「アイチ」と発音し、「愛知」と同じであることなどのご縁があり、登録をすることとなった。幸田町から将来のオリンピック・パラリンピアを目指す選手が誕生することを願い、実施したいと考えている。</p> <p>登録までの経過は、平成31年2月27日に水野光明在ハイチ日本国大使が幸田町長を表敬訪問、平成31年4月12日に内閣官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部事務局職員が来町、令和元年7月30日にホストタウン登録申請、令和元年8月22日に内閣官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部事務局主催による中米地域合同調印式、令和元年8月30日にホストタウン登録が完了。</p> <p>ハイチ選手団の来町予定者数は、陸上選手3名、柔道2名、水泳2名、テコンドー1名、重量挙げ1名、サッカー14名の選手23名、ほかハイチ関係者10名で合計33名が来町予定。</p> <p>ハイチ共和国と幸田町の交流事業(案)は、オリンピック閉会式後の2020年8月10日、11日の2日間でハイチ選手団を幸田町に招き、交流を予定している。1日目はこうた夏まつりの会場で歓迎セレモニーを実施し、夏まつりの見学を予定している。</p> <p>2日目は、ハイチ選手団の帰国予定日となっており飛行機の時間により変更もあるが、小中高校生とのスポーツ交流を考えている。詳細については、今後計画していく。皆様の協力をお願いしたい。</p>
町長	○説明に対する意見聴取
町長	○質問 ハイチ共和国の場所を説明してください。
企画政策課長	○回答 中米にあるカリブ海に面した島国になります。ドミニカ共和国と同じ島で半分がハイチ共和国になります。
町長	子どもたちがオリンピック選手と直接触れ合う機会とするとともに、ハイチの方々に幸田町という日本のまちな風情等をお伝えしたい。計画が具体化したらお示しする。
町長	▼以上で(2)報告事項については、終了とする。 今回は2回目ですが、いろんなテーマができましたら、また開催したい。進行を事務局へ戻す。
副町長	○閉会のあいさつ
企画部長	ありがとうございました。これで第2回幸田町総合教育会議を閉じます。